



トマトの木

レン ティ ハイ
LENH THI HAI

小学生の時、父とトマトを植えました。「水をやらないと枯れてしまうよ。だけど、毎日ちゃんと手入れしたらそのうちいっぱい美味しいトマトができるよ。」と父は言いました。私は父に言われたとおりに、頑張って手入れをしました。すると、美味しいトマトができて、私はとても嬉しかったです。この事から考えると、自然環境も同じだと私は思います。今の私達は自然を失くしていく一方で、このままではもっと悪い状況になるおそれがあります。

私はハノイの郊外に生まれました。そこは、かつては青い田んぼ、竹が広がり、早朝にはおじいさん、おばあさん達の楽しそう声がひびいていました。麦の匂い、鳥の鳴く声、そのさわやかな光景の代わりに、今は工業団地が広がっています。木の葉に埃がたまったり、川やダムの水の色が変わって嫌な匂いがして、魚が死んだり、ゴミがあっちこちにちらばったりしています。ここの人達は地球環境の大切さをまだ理解していないのかもしれない。私の夢はいつかこのみんなに地球環境の大切さを教えて一緒に環境保全の向上に努めることです。

また、日本に来た時、高度な科学技術やにぎやかな都会にすごく感心しましたが、私が一番好きなのは、きれいな伝統と自然の景色です。春は草木の芽が出はじめ、桜の花が美しく見ることができます。夏は平和な空のもとで並

木に新緑がそびえています。秋には紅葉に覆われた壮大な景色がとてもきれいです。冬になると全てが雪で真っ白になり、そんな中でも雑草は激しく生きています。このように、日本の自然が素晴らしいのは自然の力だけでなく、日本人の自然への配慮があるためだと私は思います。彼らは忙しい現代の生活でも環境のほごを忘れません。しかも自然を愛し、保存して神様にお返しをしているようにも見えます。日本人のおかげで、私の知識は大きく広くなりました。経済発展と環境ほごは両立できると知ることができたからです。

もし私が父に言われたことをしっかりやらなかったら、あのトマトの木は枯れて、何もできなかったはずで。環境と人間はお互いが助け合わなければなりません。人間は自然を保存しないと生活する環境がなくなってしまう。日本にいるうちに、私はいろいろなことを頑張ったり勉強したりして、経験を蓄積したいです。私はただの小さい個人ですがもし大勢がそう考えたら大きな山になると思います。

環境をほごする事は植物を世話するのと同じだと思います。ちゃんと世話をして、虫を避けるようにしていれば今後も私達は美味しい果物をもらう事ができます。逆に、何もしてあげなければもちろん何ももらえません。では、きれいな環境のために私達は一緒に努力しようではありませんか。

国	籍	ベトナム
職	種	電子機器組立て
実習実施機関		三菱電機株式会社
監理団体		公益財団法人国際労務管理財団